

# 第8回 志摩半島野生動物シンポジウム

## —伊勢湾の生きものたち—

里海“伊勢湾”は、私たちに豊かな海の恵みをもたらし、憩いの場として親しまれて来ました。しかし最近では生活廃水や工場廃水の流入、護岸工事や埋め立てなどによって、その自然環境は年々衰退の一途をたどっています。今回は「伊勢湾の生きものたち」をテーマに、各分野の専門家の方々から伊勢湾の野生生物についての現状をお話していただきます。

生きものたちの姿から、里海“伊勢湾”の環境についていっしょに考えてみませんか。

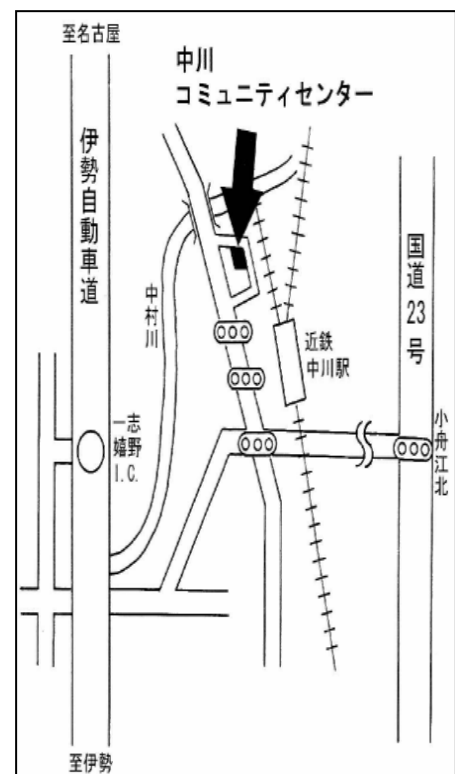
◇ 日 時 2005年10月30日（日）  
10:00～17:00

◇ 場 所 中川コミュニティセンター

- ・近鉄中川駅西口より徒歩5分
- ・松阪市嬉野町中川927  
TEL 0598-42-5574
- ・駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

◇ 参加費 300円  
(会員は無料、申し込み不要)

◇ 問合せ 志摩半島野生動物研究会  
若林郁夫  
(携帯) 090-8957-9288  
(E-mail) ikuowaka@e-net.or.jp

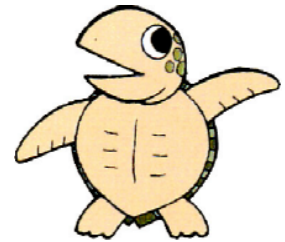


◇ 主 催 志摩半島野生動物研究会  
三重大学 ウミガメ・イルカ調査・保護サークルかめっぷり

◇ 後 援 三重県（予定）

## プログラム

- 一般講演 1 10:10~10:30  
ぐるっと伊勢湾 (中村みつ子/ 志摩半島野生動物研究会)
- 一般講演 2 10:30~11:00  
伊勢湾の哺乳類と海鳥 (若林郁夫/ 志摩半島野生動物研究会)
- 一般講演 3 11:00~11:30  
伊勢湾のアカウミガメ産卵地 (青木至/ 三重大学ウミガメ・イルカ調査・保護サークルかめっぷり)
- 一般講演 4 11:30~12:00  
伊勢湾の海浜植物 (半田俊彦/ 志摩半島野生動物研究会)
- 12:00~13:00 昼食
- ◎ 特別講演 13:00~14:00  
スナメリってどんな生きもの  
(白木原美紀/ 東邦大学東京湾生態系研究センター)
- 一般講演 5 14:00~14:30  
伊勢湾の漁業 (山本祥輝/ 志摩半島野生動物研究会)
- 一般講演 6 14:30~15:00  
マアナゴ資源を守る取り組み (原田惣司/ 鈴鹿市漁業協同組合)
- 一般講演 7 15:00~15:30  
伊勢湾のアマモ場 (水野知巳/ 三重県科学技術振興センター  
水産研究部 鈴鹿水産研究室)
- 一般講演 8 15:30~16:00  
藤前干潟の生きものたち (辻淳夫/ 藤前干潟を守る会)
- 意見交換会 16:00~17:00



### 主な演者のプロフィール

#### 白木原 美紀 (しらきはら みき)

長崎大学大学院海洋生産科学研究科後期博士課程修了、学術博士。瀬戸内海で初めて野生のスナメリを見る。大学院では、長崎沿岸域に生息するスナメリの分布や密度、年齢と成長、繁殖、食性など幅広いテーマに取り組む。その後はもっぱら小型飛行機や三重大学生物資源学部練習船勢水丸など船によるスナメリの目視調査に参加(野生のスナメリを見た回数多きは自慢できるかも)。

在京。夫、メス猫(しじみ12才)と暮らす。津市在住歴6年。

#### 辻 淳夫 (つじ あつお)

1938年、大阪市生まれ。1970年から渡り鳥にひかれ、鳥と干潟の世界へ。1984年からは名古屋市藤前干潟をゴミ埋立から守る運動に着手。現在、NPO法人藤前干潟を守る会理事長、日本湿地ネットワーク代表。

#### 原田 惣司 (はらだ そうじ)

1947年、鈴鹿市生まれ。43年間漁師として伊勢湾と向き合ってきた。冬季は黒ノリ養殖、春季は採貝・アナゴ籠漁、夏季は刺網漁を営む。かつての水揚量は激減し、伊勢湾の漁場環境の変化を感じている。

#### 水野 知巳 (みずの ともみ)

1967年、静岡県生まれ。1991年に三重大学水産学部を卒業後、三重県へ入庁。現在、三重県科学技術振興センター水産研究部主任研究員。三重大学大学院生物資源学研究科博士課程に在学中。